

2025 年 11 月 5 日

矢崎総業株式会社

矢崎総業株式会社 AI・デジタル室、「EdgeTech+ 2025」に出展 超高品質の画像アノテーションを提供

矢崎総業株式会社（本社：東京都港区、社長：矢崎 陸、以下「当社」）は一般社団法人 組込みシステム技術協会が主催する「EdgeTech+ 2025」(11 月 19 日～11 月 21 日 パシフィコ横浜)に出展します。

本展示会では、矢崎グループの中で AI・IT 技術を活用し社内外に新たな価値を生み出すために発足した組織である AI・デジタル室が、画像認識 AI 開発の現場をサポートするサービスをご紹介します。



The banner features the 'EdgeTech+ 2025' logo in white and blue against a dark background with abstract digital patterns. Below the logo, it says 'に出展します。' (We will exhibit at). The dates '2025.11.19 水 - 11.21 金' are displayed in a white box. Underneath, three red boxes contain the text '社員による高品質担保', '豊富な実績', and 'スピーディな開発支援'. At the bottom, the main theme '矢崎の画像アノテーション' (Yazaki's Image Annotation) is written in large white characters.

■出展内容

本展示会では、画像解析や AI モデル運用の現場で、次のような課題をお持ちの企業に向けて、矢崎の画像アノテーションサービスをご紹介します。

- ・衛星・インフラ・農業など、自動化が効かない画像の処理に手間がかかる
- ・他社や社内で作成した教師データに、精度のばらつきや整合性の問題がある
- ・AI モデルを開発しているが、教師データ整備のリソースが足りない
- ・図面や CAD など、現場ごとに表記ルールが異なりデータ整備が難しい

当社のブースでは、これらの課題を解決に導くため、具体的な検知対象やお見積り前提となる価格帯のご相談を受けいたします。

<矢崎の画像アノテーションサービスの特長>

- ・矢崎の "社員" によるアノテーションで高品質を担保
- ・全量検査+トリプルチェック体制で誤差を防止
- ・衛星・インフラ・図面など高難易度案件で豊富な実績

<特にご相談が多い業界>

- ・自動車／電機／機械製造業：外観検査・ライン分析・部品検知など高精度化案件
- ・建設／インフラ領域：衛星画像や図面・現場画像の構造理解が必要な高難易度案件
- ・IT／情報通信：画像認識 AI 開発・アノテーション業務の外部化

その他、さまざまな業界・分野で「自動化が難しい」といわれた案件を矢崎の社員による高品質な画像アノテーションで解決します。

サービス紹介：<https://service.yazaki.ai/annotation>

■ 出展概要

展示会名：EdgeTech+ 2025

会期：2025 年 11 月 19 日（水）～21（金）10:00-17:00 ※20 日（木）のみ 18:00 まで

会場：パシフィコ横浜：展示ホール／アネックスホール

小間番号：生成 AI ゾーン

公式サイト：<https://www.jasa.or.jp/expo/>

<矢崎総業について>

1941 年に創業。「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」を社是に掲げ、世界トップクラスのシェアを誇るワイヤーハーネス事業、自動車部品やエネルギー機器の開発・製造・販売事業を展開しています。現在は世界 46 の国と地域に拠点を展開。近年では電気自動車市場の成長にも貢献しています。

クルマと社会と未来をつなぎ、モビリティ社会をより良くすることを目指しています。

<矢崎総業 AI・デジタル室について>

2020 年に創設。矢崎グループは、モビリティデータ・工場データ・エネルギーデータ等の膨大なビッグデータを保有しています。それらを有効活用するため、社内外から AI・デジタルに知見のある人材を集めて創設されたのが AI・デジタル室です。膨大なデータを高度な AI 技術で精製し、社会に役立つ新たなサービスとして提供するのがわたしたちの使命です。AI×矢崎のデータで、社会に「ソリューション」を提供します。